

DESIGNEAST 9年ぶりにクリエイティブセンター大阪（名村造船所跡地）にて開催 DESIGNEAST IKIKIKIKIKI 2025年9月19日（金）～21日（日）



2010年開催 DESIGNEAST 01 Enzo Mari トークイベント Photo : Takumi Ota

DESIGNEASTは「デザインする状況をデザインする」ことを目的に、2009年に始動したプロジェクトです。関西・大阪を拠点に活動するデザイナー、建築家、編集者、研究者の5名の実行委員が中心となり発足しました。このたび、2016年の開催以降、9年ぶりに、DESIGNEASTを開催します。今年のDESIGNEASTのテーマは、相反するものとともに息づき、往来する豊かな状態を表す「IKIKIKIKIKI（いきき・いきいき）」。

「予測可能で短期的・片面的なデザインの代替として、長期的で関係的なデザインは、既存の価値構造を攪乱しうるか?」「今・ここの“圏内”と、周縁化された“圏外”の世界観をつなぎとめ、往来する豊かな回路をデザインすることは可能か?」こうした問いに対する多様で豊かな応答が交差する場をつくりたいと考えています。今日における／これからの建築やデザインについてはもちろん、生きること・居ることそのものをめぐる対話の場となるはずです。

かつて造船所だった文化芸術創造拠点「クリエイティブセンター大阪」を舞台に、SPEAKERS CORNER、EXHIBITION、WORKSHOP、FOOD、SHOPなど 多彩なプログラムを同時に展開します。

開催概要

- 日程： 2025年9月19日（金） - 21日（日）
- 時間： 2025年9月19日（金）前夜祭 18:00～21:00（17:30受付開始 展示をご覧いただけるのは19:00まで）
2025年9月20日（土） - 21日（日） 11:00～21:00
- 会場： クリエイティブセンター大阪 〒559-0011 大阪市住之江区北加賀屋4-1-55
- 入場料： 19日 前夜祭 一般・学生 2,000円（コース料理は別途お申込みが必要です）
前売チケット お得な前売りチケットをPeatixで販売しています <https://designeastikikiki.peatix.com>
当日チケット 一般 3,000円、学生 2,000円（1DAY）
PIY（Price it Yourself）チケット 10,000円～
- 主催： DESIGNEAST実行委員会（家成俊勝 / 多田智美 / 原田祐馬 / 水野大二郎 / 柳原照弘）
- 特別協力： 一般財団法人 おおさか創造千島財団
- 協力： 京都工芸繊維大学 KYOTO Design Lab、NEW LIGHT POTTERY
- 交通： 地下鉄四ツ橋線「北加賀屋」駅4番出口より徒歩10分
- *高校生以下は入場無料です
- *入場後は、トークや展示、映画上映はフリーで、フードやドリンク、物販はキャッシュオンでお楽しみいただけます
- *「4人のシェフによる、5皿の食事会」、サンダー・ワッシング スタジオ参加、小林一毅 ライブドローイングは、別途お申し込みが必要です

Website <https://designeast.jp/>

X

https://www.instagram.com/designeast_jp/

Instagram https://www.instagram.com/designeast_jp/

Facebook

<https://www.facebook.com/designeastpress>

【プログラム】

8月26日現在の情報です。また、予定は変更になる可能性があります。あらかじめご了承ください。
最新情報はウェブサイトよりご覧ください。

前夜祭 内覧ツアー+食事会 or BAR

日時：9月19日（金）

会場：18:00～21:00（17:30受付開始）

実行委員メンバーによる内覧ツアーと、「種と旅と」がコーディネートを担当する選べる晚餐会（事前予約制の食事会もしくはキャッシュオンのBAR）をご用意します。

・内覧ツアー 18:00 -19:00（17:30受付開始）1F受付

*実行委員会メンバーが、「Mame Kurogouchi: Notes on Fabric」を含む一部展示をご案内します。

全ての展示、トーク、物販をお楽しみいただけるのは翌日20日（土）からになります。

*18:00より内覧がスタートしますので、参加希望の方は、それまでに受付終了するようお越しください。

*19:00以降はご覧いただくことができません。

・「種と旅とDESIGNEAST：4人のシェフによる5皿の食事会」（事前予約制） 19:00～21:00

各シェフが一人一皿を担当、デザートは全員の感性で一皿をつくります。

予約サイト <https://peatix.com/event/4520175/view>

・「種と旅とDESIGNEAST：TACOS&BAR」（予約不要・キャッシュオン） 19:00～21:00

シェフ 鹿嶋祐輔のフードをご提供します。 <https://www.instagram.com/yusuke.ksm/>

「種と旅とDESIGNEAST：4人のシェフによる5皿の食事会」詳細

参加費 23,000円（税込）

定員 40名

料理 小桧山聡子 [山フーズ]

https://www.instagram.com/kobi_yama/

平田明珠 [Villa della pace]

Daiki Abe [ikuta]

https://www.instagram.com/daiki_abe/

北嶋竜樹 [neutral]

https://www.instagram.com/ryuju_kitajima/

ペアリングドリンク サゴッジョ

https://www.instagram.com/sagoggio_kakko_kari/

サービス 奥津爾 [タネト]

https://www.instagram.com/chikashi_okutsu/



「種と旅と in 森、道、市場2025」開催風景 Photo：Sawaki Ryohei



小桧山聡子



Daiki Abe



平田明珠



北嶋竜樹

SPEAKERS CORNER@3F

日時：9月20日（金） - 21日（土）順不同

お時間はタイムテーブルよりご覧ください <https://bit.ly/4lQnODx>

会場内に設置した3箇所の会場で、さまざまな人が自身の活動について自由に論じる状況をつくります。
詳細は、ウェブサイトのタイムテーブルをご覧ください。

20日(土)_DAY1

塚本由晴 | アトリエ・ワン、東京科学大学大学院教授
エマヌエーレ・コッチャ | 哲学者、パリ社会科学高等研究院[EHESS]准教授
小林茂 | 情報科学芸術大学院大学 [IAMAS] 図書館長・教授
サンダー・ワッシング | アーティスト／デザイナー
渡邊朋也 | 山口情報芸術センター (YCAM) アーキビスト／ドキュメントコーディネーター
吉行良平 | プロダクトデザイナー、吉行良平と仕事
加藤正基 | 空間デザイナー
和泉侃 | Olfactive Studio Neディレクター
小林一毅 | グラフィックデザイナー
加藤駿介 | NOTA&design
山副佳祐 | Hinote™ディレクター
工藤桃子 | 建築家・MMA Inc.主宰
熊谷彰博 | デザイナー
田原奈央子 | プレス・企画
奥津爾 | オーガニック直売所タネト店主
織咲誠 | インターデザイン・アーティスト、ダンボール社会学者
服部滋樹 | デザイナー、graf代表
古舘健 | アーティスト、ミュージシャン、エンジニア
井口和泉 | 料理研究家／養生研究家
EDANE | ギャラリー
川崎和也 | スペキュラティヴ・ファッションデザイナー、Synflux株式会社 代表取締役
小松山聡子 | 山フーズ主宰

21日(日)_DAY2

テオ・ムザール | Collectif Etc. 建築家
マリーヌ・ロワイエ | ナント大学「PROJEKT」デザイナー兼研究員・局長補佐、サービスデザイナー
黒河内真衣子 | Mame Kurogouchi デザイナー
多木陽介 | 批評家・移動教室 主宰
工藤眞平 | Books and Places 主宰
早水香織 | ATELIER
木原倫太郎、佐々木昂聖 | FOME / hibi
川勝真一、藏蘭悠介 | けんちくセンターCoAK
中井詩乃、小村純太 | HOME SHOP
吉田勝信 | 採集者・デザイナー・プリンター
加藤直徳 | NEUTRAL COLORS {NC} 編集長
中村寛 | デザイン人類学者、多摩美術大学リベラルアーツセンター大学院教授
西村周治 | 西村組・合同会社廃屋
石川由佳子 | for cities
『万博を解体する』編集部（寺内玲、松岡大雅、鯉沼晴悠）
水内智英 | デザイン研究者・プロジェクトディレクター、京都工芸繊維大学 未来デザイン・工学機構 准教授
紫牟田伸子 | 編集家
南部隆一 | デザインディレクター、ACTANT 代表／ACTANT FOREST共同主催
岩見遙果 | 京都工芸繊維大学KYOTO Design Lab特任研究員
松川昌平 | 慶應義塾大学SFC環境情報学部准教授、000studio主宰
堀川淳一郎 | 建築系プログラマー／アルゴリズムミックデザイナー

EXHIBITION

日時：9月20日（土） - 21日（日） / 19日（金） 18:00～19:00開催の内覧ツアーでもご覧いただけます
会場：4F ドラフティングルーム

Mame Kurogouchi: Notes on Fabric

日本を代表するファッションブランド・Mame Kurogouchi（マメ クロゴウチ）によるエキシビション「Mame Kurogouchi: Notes on Fabric」。

2021年に開催したエキシビション「10 Mame Kurogouchi」以来約4年ぶりとなる大規模な今回の展示では、DESIGNEASTのテーマに呼応する形でブランドのクリエイションにおける往還性を提示します。展示会場となるクリエイティブセンター大阪のドラフティングルームには、コレクション制作の始まりの記録である、デザイナー黒河内真衣子のノートの抜粋に始まり、これまでブランドが築き上げてきたものづくりを総括するかのように、2014年春夏コレクションから2025年秋冬コレクションまでに開発した200種類近くのオリジナルファブリックが並びます。さらに空間を横断するのは、本展示のために特別に制作された全長25メートルにも及ぶ2種類のファブリック。数年に及ぶインスピレーションの起源と織り上げられた生地たちの間を行き来することで、Mame Kurogouchiのクリエイションを前進させる記憶、文化、ものづくりの円環の一端をご覧いただけます。

*展示内容は変更となる可能性があります。

<マメ クロゴウチ> <https://www.instagram.com/mamekurogouchi>

デザイナー 黒河内真衣子により2010年に設立されたウィメンズウェアブランド。

デザイナー自身の経験や記憶に、伝統と自然、職人技術と最新のテクノロジーを複雑に織り交ぜて作り上げられるコレクションを展開する。私小説的とも言えるマメ クロゴウチのクリエイションはタイムレスなデザインを上質な素材、オリジナルの生地や柄、美しい曲線を描くユニークなシルエットで都会的かつ現代的に表現し、現代における女性らしさと、女性であることへの賞賛を力強く体現する。

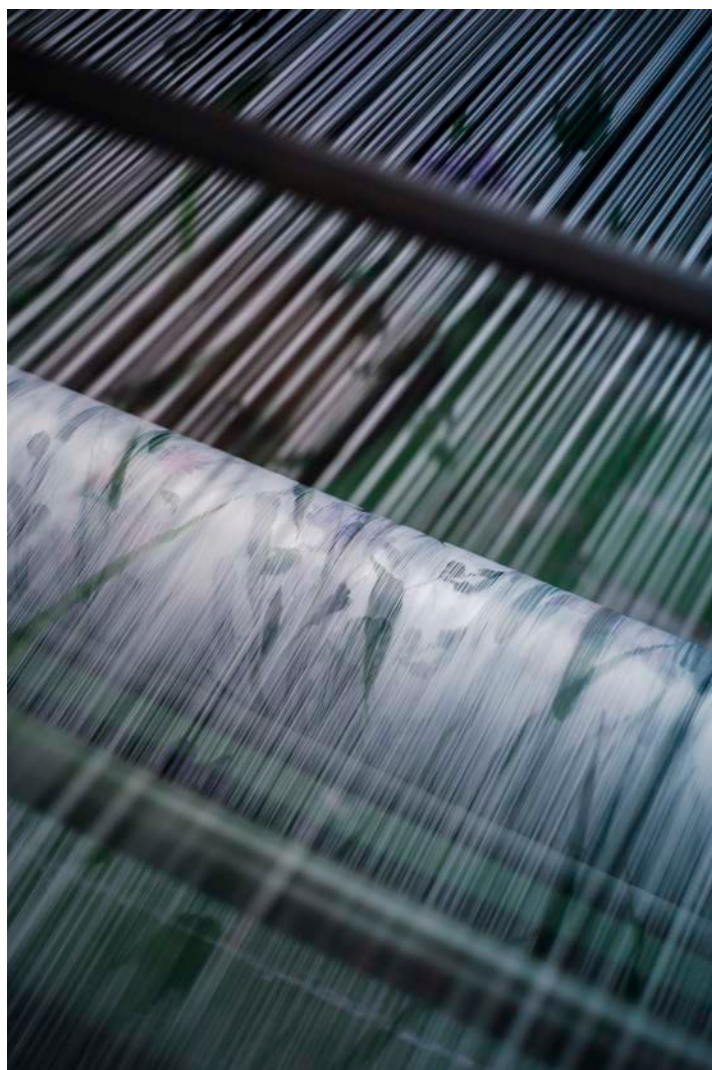


Photo : Yuichiro Noda

MARKET

日時：9月20日（土） - 21日（日）

会場：Studio PARTITTA赤鉄骨下

種と旅とDESIGNEAST

「種と旅と」コーディネートエリアが登場。ナチュラルワインにあわせて各地の料理人が腕をふるう立ち呑みエリア、そして在来種野菜や天然酵母の味噌、天日干しの昆布、クラフトアイスやタコス、お弁当が楽しめるマーケットエリア。また、特別なインスタレーション「いのちのやさい」も実施します。

＊詳細は「種と旅と」公式Instagramよりご覧ください。

出店

青果ミコト屋 / AKITO COFFEE / TANIGAKI /
 sun.days.food / OFF / 樹和堂 / 薪火野 / SUNPEDAL /
 HOWENE / Botanical Life / patisserie code / ひのめ / 五
 ふしの草 / 藤原みそこうじ店 / イシハラ昆布 / 山フーズ /
 Daiki Abe (ikuta) / サゴッジョ / sisi

いのちの野菜

いのちの野菜長崎県雲仙市で岩崎政利さんの畑で生まれる種の
 鞘、枯れた野菜。種を守り継ぐ農の営み、循環する野菜のいの
 ちをインスタレーションします



「種と旅と in 森、道、市場2025」開催風景 Photo : Sawaki Ryohei

<種と旅と> <https://www.instagram.com/tanetotabito/>

オーガニック直売所タネトの店主・奥津爾と青果ミコト屋の鈴木鉄平が主宰するプロジェクト。全国あちこちで、同時多発的に、日本中の料理人、農家、八百屋がつながりその土地の在来種、伝統食を味わう祝祭。

WORKSHOP STUDIO

日時：9月20日（土） - 21日（日）

会場：2F White Chamber

Sander Wassink Temporary Studio

2階奥には、日本とオランダを拠点に活動するデザイナー／アーティスト Sander Wassink（サンダー・ワッシンク）による2日間のスタジオが登場。オブジェクト、インテリア、建築、大規模インスタレーションと、国内外での幅広い実践を展開し、見過ごされがちなものから新たな価値を見出してきたワッシンク。今回のスタジオでは、参加者とともに家屋解体時に生まれた資材を活用し、オリジナルデザインの家具「V.5.0」を制作します。「作品は、固定された完成形を求めるのではなく、変化し続けることや文脈の移り変わりを価値として捉える」と語るワッシンク。時間・場所・形を生きるうえでの根本的な条件としての「変化」を映し出す家具づくりを、ぜひ体験ください。（制作した家具はお持ち帰りいただけます）

<サンダー・ワッシンク> https://www.instagram.com/sander__wassink/

1984年、オランダ・ハーリンゲン生まれ。日本とオランダを拠点に活動するアーティスト／デザイナー。デザインアカデミー・アイントホーフェンを卒業後、美や機能、作者性、帰属意識といった既存の概念を問い直し続けている。

開催日 20日（土） 21日（日）

時間 両日ともに12:00～15:00、15:00～18:00 全4回

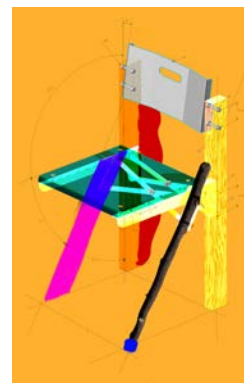
定員 各回15名 ＊定員に満たない場合、当日受付を承ります

所要時間 約3時間

参加費 18,000円（税込）

お申込み <https://designeast.base.shop/items/116535784>

＊事前予約優先・参加費別途



EXHIBITION

日時：9月20日（土） - 21日（日）

会場：1F&3F

TAJIMI CUSTOM TILES

多治見のタイル製造の技術の高さや多様性、タイルの可能性を伝えるために、世界で活躍するデザイナーとコラボレーションし、インスタレーション作品を製作し発表してきたTAJIMI CUSTOM TILES。今回は、マックス・ラム、イ・カンホ、ロナン・ブルレックと取り組んだ作品を一同に集結し展示します。

<タジミカスタムタイルズ> <https://www.instagram.com/tajimicustomtiles>

タイルの日本最大産地、岐阜県・多治見で個性豊かなメーカーと連携し、世界に向けて、建築家やデザイナーのリクエストによるオーダーメイドタイルを制作しています。他地域では減少している伝統的な成形や焼成技術、豊かな釉薬表現が強み。拠点である多治見の本社には、リサイクルタイルの研究開発などを行うラボやギャラリーを併設しています。



Photo : Kenta Hasegawa

ART INSTALLATION

日時：9月20日（土） - 21日（日）

会場：3F、その他会場内

織咲誠：Hug Box♡——分断のない世界のつくりかた

ダンボールという身近な素材と向き合ったものづくり、その加工のための独自の道具「ori-ta」の開発など、独自の視点で探求を続けてきたインターデザイン・アーティスト／ダンボール社会学者・織咲誠。理想の「箱」を探求すること8年半。その集大成として2025年7月、BOOTLEG gallery（東京・神楽坂）にて発表し、大きな反響を呼んだ最新作《hug-box♡》によるアート・インスタレーションを開催します。《hug-box♡》は、従来のダンボール箱に存在する「切れ目」や「接着」を“分断”と捉え、それを無くすことで誕生した世界初の構造です。分断のない一枚構造から、シート⇄箱とワンアクションで変形。接着剤もホッチキスも使わず自立する、革新的な「箱」です。分断や対立が煽られる時代に、日常的な素材を通して「調和」を提示するこの試み。織咲誠の思想と造形が一体となった空間体験をご体感ください。

<織咲誠> https://www.instagram.com/m_orisaki

インターデザイン・アーティスト / ダンボール社会学者

アートとデザイン双方の根源にあるはずの“共通”や“統合”の美。ものごとの<間>を探る長旅。「自然力を取り込む知恵」「物質量やコストにたよらない」理を得るクリエイティブの提唱をしている。『LINE WORKS』—「線の引き方次第で、世界が変わる」：「結びつきの関係」のリサーチと実践を進行中。思想からうまれる形の数々は世界で特許登録され、製品として世に出つつある。2021年アートの領域に軸足を再び戻し、<統合クリエイティブ>の歩みをスタート。<https://orita.base.ec/>



FILM

日時：9月20日（土） - 21日（日）両日ともに13:00～14:30、17:30～19:00 全4回 ※事前予約不要
会場：1F Black Chamber

『移動する「家族」 | "Families" on the move』上映&ワークショップ

“わたしたちは、最愛の人としばしば離れ隔たったり、隔たった者がしばしばもっとも近い者であるような世界に住んでいる。”（ベック&ベック=ゲルンスハイム, 2014）

“We inhabit a world in which our loved ones are often far away and those from whom we are distant may well be those dearest to us.” (Beck & Beck-Gernsheim 2014)

映像エスノグラファー・大橋香奈による移住と家族をめぐる民族誌的ドキュメンタリー映画『移動する「家族」 | "Families" on the move』（2019）を上映。母国や他国で暮らす「家族」と国境をまたがる「トランスナショナルな生活世界」を描く本作の鑑賞後、大橋監督によるワークショップも開催予定です。

DESIGNEASTでの上映ワークショップで53回目となります。（これまで52箇所で開催、1,036名が参加しています）



MOVIE 予告編 <https://vimeo.com/1112195621/b537ff5df6>

世界で国境を越えて移住する人びとが増加し続けています。異国の地に移動した人びとは、母国や他国で暮らす「家族」と国境をまたがるトランスナショナルな交流を続けます。本作は、「トランスナショナルな生活世界」を生きる彼／彼女の経験を映像で描き出すことを目的としています。5人の協力者それぞれに1年間に渡る調査を実施し、彼／彼女と協働して映像作品を制作しました。

「家族」とは何か。

「家族」になるため、「家族」であるために必要なことは何か。

移住と家族をめぐる5つの物語を通して考えてみませんか。

この映像作品『移動する「家族」』は、大橋香奈による博士研究の成果です。2015年から2017年にかけて、5人の協力者それぞれに1年間に渡る調査を実施し、彼／彼女と協働して制作しました。構想段階を含め、足かけ4年間で完成しました。

大橋香奈

SHOP

SHOP / FOOD

日時：9月20日（土） - 21日（日）

会場：2F

テーマにあわせたお店のPOP UPが登場。DESIGNEASTでおなじみの明治時代から続く大阪の建築専門書・柳々堂、DESIGNEAST SHOP [今回は田原奈央子が店長を担当]、森林食堂によるカレーの提供も。

SHOP：ATELIER、ARCHIZINES、hibi/fome、home shop、柳々堂、

DESIGNEAST SHOP [DOCU、Hinote™、LICHEN、ONCE、SAN、IDÉE、and more]

FOOD：森林食堂

DESIGNEAST SHOP presents 小林一毅 Live Drawing

日時：9月20日（土） 11:15～19:30（事前予約制 最終受付：19:00）

会場：2F

グラフィックデザイナーの小林一毅 によるライブドローイングを開催。お客さまの大切な思い出の「もの」を、その場で絵にします。ベビーカーやおもちゃ、食器や家具、暮らしをともにした動物、風景など.....どんなものでも構いません。完成した絵（仕上がりサイズ：A4）は、その場でお渡しいたします。

事前申込 リンク

所要時間 30分/1組

参加費 ￥33,000（税込価格）

お申込み <https://designeast.base.shop/items/116845097>

その他 描いていただきたいものについて、お持ちいただける場合には、実物をご持参ください。
大きなもの・動物・風景などの場合には、写真をご用意ください。

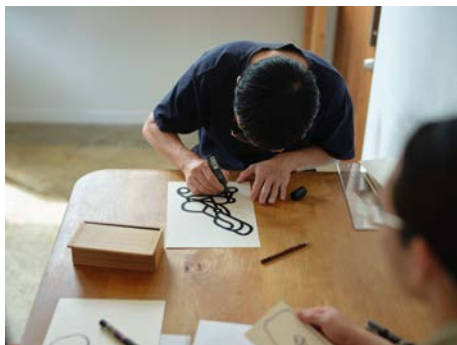


Photo : Kohei Yamamoto



Photo : Kohei Yamamoto

BAR / LOUNGE

日時：9月20日（土） - 21日（日）

会場：3F

3FのSPEAKERS CORNER会場中心に設置されるBARカウンター（設計：加藤正基）では、来場者やゲストがドリンクを片手に語ることができます。会場内に点在する「吉行良平と仕事」によるベンチは、後日ご購入も可能です。BAR/LOUNGEの一角では、アーティスト・植田志保が2015年より続けている対話描画「In a Flowerscape | 色とことばがひらく対話描画」を開催します。

DESIGNEAST IKIKIIKIIKI コンセプト

どこでも、なんでも、“デザイン”と呼ばれる今日。
その広がりの中、私たちは新たな希望の萌芽を感じています。

それは、ささやかな存在で目立たずとも、戦術的で、
また、長期的・包括的・再生的・利他的・自律的な営みであり、
これまでとは異なる生存・居住のあり方（Habitability）への希望です。

この希望が示す“Habitability”は、
あらかじめ計画された近代的な生活の空間ではありません。むしろ、
「テリトリーに住もう」という感覚——つまり、土地や環境に根差し、
自らを含むさまざまな人や生き物、制度、時間との関係のなかで、
暮らしの場をともに育んでいく、「関係的なデザイン」です。

ロビン・ウォール・キマラーの著書『植物と叡智の守り人』のなかに、
「プボウィー」という言葉があります。これは、あるアメリカ先住民が、
キノコが一夜にして地面から顔を出す力を表す言葉です。

「関係的なデザイン」は、この「プボウィー」のような、
言語化される以前の表現力に近いものだと私たちは考えています。
しかし、近代的で分析的な、分別智的な見方に慣れ親しむにつれ、
私たちは、こうした力を失いつつあるのではないのでしょうか。

それらは、アーティストや人類学者、生態学者により、
言語化以前にある「宙吊り状態の価値」として表現されてきました。
また、さまざまなデザイナーや建築家が、そうした表現を感知し、
制度・法律・産業といった枠組みに橋渡ししてきた歴史があります。

しかし今、都市的な職能としての建築家やデザイナーに、
「プボウィー」のような力を取り戻すことはできるでしょうか。
「関係的なデザイン」を実践することは、この問いに対する
応答のひとつになりうるのではないかと考えています。

それは、近代と土着、都市と地域、利己と利他、西洋と東洋といった、
二項を対立させることなく、矛盾をまるごと呑み込みながら存在させる
「一即多（いっしょくた）」の状況をデザインすることでもあります。

今年のDESIGNEASTのテーマ「IKIKIIKIIKI（いきき・いきいき）」は、
相反するものがともに息づき、往来する豊かな状態を表しています。

- ・ 予測可能で短期的・片利的なデザインの代替として、
長期的で関係的なデザインは、既存の価値構造を攪乱しうるか？
- ・ 今・この「圏内」と、周縁化された「圏外」の世界観をつなぎとめ、
往来する豊かな回路をデザインすることは可能か？

9年ぶりに開催するDESIGNEASTでは、こうした問いに対する
多様で豊かな応答が交差する場をつくりたいと考えています。
今日における／これからの建築やデザインについてはもちろん、
生きること・居ることそのものをめぐる対話の場となるはずです。

DESIGNEAST実行委員会（柳原照弘／家成俊勝／原田祐馬／多田智美／水野大二郎）

DESIGNEAST（デザインイースト）について

DESIGNEASTは、2009年に始動したプロジェクトです。

大阪を拠点に活動するデザイナー、建築家、編集者、研究者の5名の実行委員が中心となり、“デザインする状況”の乏しい大阪の状況をただ嘆くのではなく、対話・交流の場を自らつくり出すことを目指してきました。この取り組みは、いわば「究極の趣味」とも言える個々の想いと同じ問題意識を共有する人たちとの世代を超えた豊かなネットワークにより成り立っています。「Social Sustainability」「周縁と中心」「状況との対話」「場への愛」「CAMP」「XO」「移動 MOBILITIES」など毎回ユニークなテーマを設定。国内外のゲストによるトークやワークショップ、映画上映、マルシェなどを通して、分野や形式を横断し、渾然一体となるような場をつくってきました。多様化するデザインの現在と向き合いながら、DESIGNEAST自体も変化し続ける運動体として試みを続けています。

過去のDESIGNEASTのテーマ

- 00：デザインと都市
- 01：social sustainability
- 02：周縁と中心
- 03：状況との対話
- 04：場への愛
- 05：CAMP
- 06：XO（eXtra-Ordinary）
- 07：MOBILITIES＝移動



DESIGNEAST07（2017年）の記録映像

<https://www.youtube.com/watch?v=wxCcpSwNFgo>

主催：DESIGNEAST実行委員会

家成俊勝（建築家、dot architects共同主宰）

原田祐馬（デザイナー、UMA/design farm代表）

多田智美（編集者、MUESUM代表、どく社共同代表）

水野大二郎（デザイン研究者、京都工芸繊維大学教授）

柳原照弘（デザイナー、Teruhiro Yanagihara Studio 代表）



家成俊勝



原田祐馬



多田智美



水野大二郎



柳原照弘

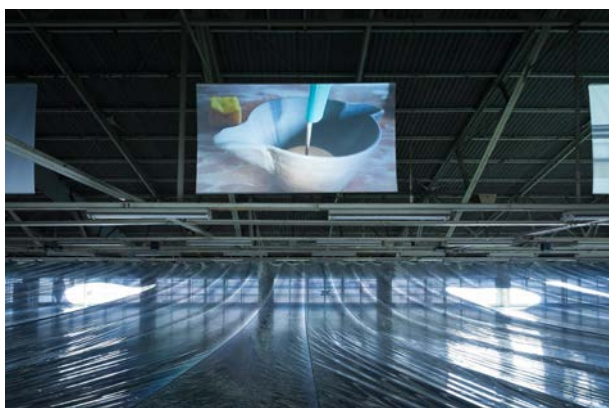
過去の開催より



MAIN TALK (Enzo Mari)



SPEAKERS CORNER



EXHIBITION



MOVIE



WORKSHOP



SHOP



FOOD



BAR

お客様お問い合わせ先
DESIGNEAST実行委員会
Email : office@designeast.jp
Web : designeast.jp

プレス問合せ先
HOW INC.
Email : pressrelease@how-pr.co.jp
Tel : 03 5414 6405